

2023 年度 10 月入学
名古屋大学大学院人文学研究科
博士後期課程
学生募集要項

〔一般入試・社会人入試〕

【アドミッション・ポリシー】

下記URLを参照してください。

<http://www.nuqa.nagoya-u.ac.jp/policies/d.html>

本研究科の出願手続きはインターネットを利用して行います。出願に必要なパソコンやプリンター等の機器，メールアドレス，顔写真データ，支払方法，提出書類等を確認してから出願してください。また出願前には，マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。なお，インターネット出願時に登録されたメールアドレスには，大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので，変更や削除の可能性がなく，日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◆新型コロナウイルス感染症に関する諸連絡

今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況等によっては，入試日程や入試実施方法等を変更することがあります。変更する場合は，当研究科（学部）のホームページ上でお知らせいたしますので，随時ご確認ください。

○人文学研究科ホームページ

URL <https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/>

名古屋大学大学院
人文学研究科

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

名古屋大学では、自然災害等による被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ホームページをご確認ください。

- 本学ホームページ（入試案内＞入試情報を知りたい＞大学院入試＞検定料の特別措置（自然災害等による被災））

URL <https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/gs-exam/saigai/index.html>

◆ 不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、下記ホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

- 人文学研究科ホームページ

URL <https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/>

人文学専攻

学繋・コース	教育プログラム	分野・専門	前期課程	後期課程
言語文化学繋 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、人間の文化の普遍的基盤である様々な言語などに関して、自らテーマを発見し、その緻密な分析を通じて、現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と、高い言語能力、異文化理解力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。	言語学	言語学	○	○
	日本語学	日本語学 日本語教育学 応用日本語学		
英語文化学繋 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、英語という言葉、および英語で書かれた文学などに関して、自らテーマを発見し、その緻密な分析を通じて、現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と、高い言語能力、異文化理解力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。	英語文化学	英語学 英米文学 英語教育学		
文献思想学繋 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、人間の文化の普遍的基盤である東西の文学、古典、そして哲学・倫理に関して、自らテーマを発見し、その緻密な分析を通じて、現代社会の諸々の課題の解決に貢献できる力と、高い言語能力、異文化理解力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。	西洋文献学	ドイツ語ドイツ文学 ドイツ語圏文化学 フランス語フランス文学		
	東洋文献学	日本文学 中国語中国文学		
	哲学倫理学	哲学 西洋古典学 中国哲学 インド哲学		
超域人文学繋 大学教員、高校教員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、映像、メディア、表象文化、移民・マイノリティ、ジェンダー、東アジアと日本の文化など学際的な問題について自ら課題を発見し、多角的なアプローチによる資料や対象の分析に基づいて、これを解明する能力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。	超域人文学	映像学 日本文化学 文化動態学 ジェンダー学 メディア文化社会論		
歴史文化学繋 大学教員、高校教員、学芸員など、研究職や教育職、高度専門職を担う人材を養成するため、世界の諸地域における人間の歴史的・文化的な営みについて、文献史料・美術作品・物質資料、民族誌資料等の厳密な分析とフィールドワークに基づいて、自ら課題を発見し、オリジナルな視点からこれを解明する能力を、地域及び国内外の学術交流の中で養います。	歴史文化学	日本史学 東洋史学 西洋史学 美学美術史学 考古学 文化人類学		
◆英語高度専門職業人コース 英語に堪能で英語圏文化に精通した通訳・翻訳家や英語教員など、英語のスペシャリストの養成を目指します。一般学生のほか、在職のまま修学する社会人や中学・高校の英語教員なども受け入れます。	英語高度専門職業人プログラム		○	/

※G30 国際プログラム群 言語学・文化研究プログラムと「アジアの中の日本文化」プログラムの学生募集は、別途実施します。

1. 出願資格

一般入試

次の(1)～(6)のいずれかに該当する者

社会人入試

次の(1)～(6)のいずれかに該当し、大学院入学時までに通算2年間以上の社会経験（民間企業、官公庁、学校教育機関、自営業、家事、ボランティア活動などの経験。ただし、研究生および大学院学生としての期間は含みません。）を有する者

- (1) 本学大学院または他の大学院で修士の学位もしくは専門職学位を授与された者または2023年9月30日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または2023年9月30日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または2023年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または2023年9月30日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年9月30日までに24才に達する者

【注】(6)により出願しようとする者は、25ページを参照し、文系教務課内 人文学研究科入試担当あてに2023年5月22日（月）午後4時必着で必要書類を提出してください。

2. 専攻及び募集人員

専攻	学繫	教育プログラム	分野・専門	募集人員
人文学専攻	言語文化学繫	言語学	言語学	若干名
		日本語学	日本語学, 日本語教育学, 応用日本語学	
	英語文化学繫	英語文化学	英語学, 英米文学, 英語教育学	
	文献思想学繫	西洋文献学	ドイツ語ドイツ文学, ドイツ語圏文化学, フランス語フランス文学,	
		東洋文献学	日本文学, 中国語中国文学	
		哲学倫理学	哲学, 西洋古典学, 中国哲学, インド哲学	
	超域人文学繫	超域人文学	映像学, 日本文化学, 文化動態学, ジェンダー学, メディア文化社会論	
	歴史文化学繫	歴史文化学	日本史学, 東洋史学, 西洋史学, 美学美術史学, 考古学, 文化人類学	

※上記募集人員には、一般入試及び社会人入試の募集人員を含みます。

3. 出願手続

出願手続は、インターネット出願システムでの出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な出願書類などを提出することにより、完了します。

インターネット出願での出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。

なお、支払い期限は、出願登録日を含め 4 日間です。支払い期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。（キャンセルとなったときは再登録してください）

※払込締切日までの日数が 4 日より短い場合は、払込締切日が優先されます。

出願者は、5. 出願書類等（1）～（10）の書類等を文系教務課内 人文学研究科入試担当へ出願期間内に届くように提出してください。出願書類の完備しない願書は受理しません。

◎ 注 意 事 項

- （1） 出願書類の郵送は、インターネット出願システムから印刷する「出願用宛名用紙」をカラーで出力し、角形 2 号の封筒に貼りつけて、締切日時までに必着するよう送付してください。

詳細については、15 ページ「STEP 6（必要書類の印刷と郵送）」を確認してください。海外からは追跡のできる方法で送付してください。

- （2） 出願後は記載事項の変更及び検定料の払い戻しはしません。

4. 願書受付期間

2023 年 6 月 14 日（水）から 6 月 16 日（金）午後 4 時までとします。

出願は郵送に限ります。持参での出願はできません。

必ず書留速達郵便（海外からは追跡のできる方法で発送）とし、期間内〔6 月 16 日（金）午後 4 時まで〕に到着するよう送付してください。期間後到着分は受理しませんので注意してください。

また、出願受付期間に提出された 5. 出願書類等に不備がある場合、受理しません。出願書類の到着についてはこちらから連絡はしません。

※インターネット出願登録期間および入学検定料払込期間

2023 年 5 月 31 日（水）から 2023 年 6 月 14 日（水）午後 3 時まで

・インターネット出願については、12 ページ 14. インターネット出願の流れを参照してください。

・入学検定料の払込については、6. 入学検定料の払込方法を参照してください。

5. 出願書類等

インターネット出願以外の所定用紙は、人文学研究科ホームページからダウンロードし、A4 判用紙に片面印刷のうえ履歴書、出願書類チェック表は黒ボールペンで記入してください。

[\(https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/examination/examination-sub4/\)](https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/examination/examination-sub4/)

所定用紙を印刷できない場合は、文系教務課内 人文学研究科入試担当までご相談ください。

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
(1)	名古屋大学大学院 入 学志願票及び写真票	〔インターネット出願システムから出力されたものを、A4 サイズで片面カラー印刷してください。〕 ※出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。 インターネット出願システムに入力した住所に合格通知を送付することから出願後に住所が変更になる場合には必ず文系教務課内 人文学研究科入試担当までご連絡ください。
(2)	名古屋大学人文学研究 科 履歴書	人文学研究科ホームページから所定の様式をA4判用紙に片面印刷し、提出してください。
(3)	志望理由書	A4判横書1枚で提出してください。名古屋大学大学院人文学研究科、文学研究科、国際言語文化研究科及び国際開発研究科国際コミュニケーション専攻の博士前期課程（修士課程）修了者または修了見込者は不要です。
(4)	修士学位取得（見込） 証明書	・証明書は必ず原本を提出してください。コピー、PDF等のデータ、電子版を印刷したものでの提出は受けません。（証明書の原本を提出できない場合は、発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。電子版を提出する場合は出身大学院から名古屋大学へ直接送付してください。） ・名古屋大学大学院人文学研究科、文学研究科、国際言語文化研究科及び国際開発研究科の博士前期課程（修士課程）修了者または修了見込者は不要です。 ・氏名変更等により、証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合、それを証明できる書類を併せて提出してください。 【中国の大学院修了の場合】 ①、②のいずれかを提出してください。 ①中国政府直轄の財団である『中国教育部学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』のホームページにて「学位証書」の認定報告（PDF）を取得しA4判に印刷したものを提出してください。英文も可。 手続きの詳細は、CDGDCのホームページで確認してください。 ②『中国高等教育学生信息网（CHSI）』の発行する「中国高等教育学位在線驗證報告」を取得しA4判に印刷したものを提出し

		てください。英文も可。 名古屋大学に在籍している大学院研究生，在籍した大学院研究生も①，②いずれかを提出してください。			
(5)	最終出身大学院の成績証明書	・ 証明書は必ず原本を提出してください。コピー，PDF 等のデータ，電子版を印刷したものでの提出は受け付けません。（証明書の原本を提出できない場合は，発行元または公的機関で原本と相違ないことを証明したものを提出してください。電子版を提出する場合は出身大学院から名古屋大学へ直接送付してください。）なお，中国の大学院出身者は，『中国高等教育学生信息网（CHSI）』の発行する「中国高等学校学生成績検証報告」の提出でも認めます。英文も可。 ・ 名古屋大学大学院人文学研究科，文学研究科，国際言語文化研究科及び国際開発研究科の博士前期課程（修士課程）修了者または修了見込者は不要です。 ・ 氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合，それを証明できる書類を併せて提出してください。			
(6)	修士の学位試験に提出した論文の写し等	・ 以下の①または②を A4 用紙に印刷して提出してください。 <table><tr><td>①修士の学位試験に提出した論文の写し</td><td rowspan="2">1 部</td></tr><tr><td>②（修士論文がない場合）修士課程における学修の成果を示す論文（日本語 20,000 字程度または英語 8,000 語程度）の写し</td></tr></table> ・ 修士論文以外の研究業績となる論文がある者は，その写しを 1 部提出してください。 〔注〕 1) ①～②について，日本語または英語以外の言語を使用している場合 及び使用する予定がある場合には，その論文の要旨（日本語 20,000 字程度または英語 8,000 語程度）を作成し添付して提出してください。 2) 提出した論文は返却しません。	①修士の学位試験に提出した論文の写し	1 部	②（修士論文がない場合）修士課程における学修の成果を示す論文（日本語 20,000 字程度または英語 8,000 語程度）の写し
①修士の学位試験に提出した論文の写し	1 部				
②（修士論文がない場合）修士課程における学修の成果を示す論文（日本語 20,000 字程度または英語 8,000 語程度）の写し					
(7)	博士論文作成計画書	人文学研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし，A4 判用紙に片面印刷したものを提出してください。なお，作成の際はできるだけ詳細に記入してください。			
(8)	外国語検定試験・日本語能力試験の成績通知書の写し	提出は任意です。			
(9)	（外国人のみ）在留カードのコピー（両面）	・ 日本国内に在住する外国人は，在留カードのコピー（両面）を提出してください。 ・ 日本国外に在住する外国人はパスポートのコピーを提出して			

		ください。 ・出願書類等には、これらの証明書等に記載された氏名を用いてください。
(10)	出願書類チェック表	人文学研究科ホームページから所定の様式をダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入し、提出してください。

6. 入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

出願時において国費外国人留学生、本学大学院博士前期課程修了見込みの者は入学検定料は必要ありません。インターネット出願時に「検定料の免除について」をチェックしてください。また、他大学から受験する国費外国人留学生は在学大学が発行する国費留学生であることの証明書を提出してください。

なお、誤って「検定料の免除について」を選択し、入学検定料の支払いをせず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。

※料金のほかに支払手数料（500円程度）が必要となります。

(2) 払込期間（日本時間）

2023年5月31日（水）から2023年6月14日（水）午後3時まで

(3) 払込方法

入学検定料等の支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。詳細については、14ページ「STEP 5（入学検定料の支払い）」を確認してください。

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング
- ・コンビニエンスストア
- ・Pay-easy対応銀行ATM

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還いたしません。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還します。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※入学検定料の返還は銀行振込で行われます。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要しますので、入学検定料の納入は慎重に行ってください。

返還請求方法については、名古屋大学ホームページ（<http://www.nagoya-u.ac.jp/>）→入学案内→入試情報を知りたい→大学院入試→入学検定料の支払いについて を確認してください。

7. 「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化について

人文・社会科学の研究のみに関わる場合、以下は必要ありません。

例外的に理科学系分野との融合領域に関わる場合にのみ必要な手続きとなります。

2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関による教職員及び学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。

これに伴い、本学に出願の際は、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、合格時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

「類型該当性の自己申告書」及び「類型該当判断のフローチャート」

https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/form1_export-control_jp

御自身の判断で提出していただければ結構です。不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

8. 受験上の配慮を必要とする者の出願

病気、負傷、障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ文系教務課内 人文学研究科入試担当へ郵送にて相談してください。

(1) 相談の時期

2023 年 5 月 22 日 (月) 午後 4 時まで

(2) 相談方法

以下の三点を 5 月 22 日 (月) 午後 4 時必着で郵送してください。なお、必要に応じてそれ以外に適宜書類を添付してもかまいません。

- ① 受験上の配慮申請書(「DC10 月入学試験 志望分野・専門名」を記入し、病気、負傷、障がい等の状況、受験上の配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの(A4 判サイズで様式は自由です。)
- ② 病気、負傷、障がい等に関する医師の診断書または障害者手帳等(診断書は受診日から 3 ヶ月以内のもの。写しでも可。)
- ③ 病気、負傷、障がい等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書。)

(3) 郵送(連絡)先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4(700)

名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、出願期間終了日時までにお問い合わせください。

e-mail: hum@adm.nagoya-u.ac.jp

9. 選抜方法

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類審査及び分野・専門別の口述試験により行います。

(2) 分野・専門別の口述試験

①修士学位論文またはこれに代わるもの及び出身学校の学業成績等に係る試問

②課程博士学位取得候補者に足る資質に係る試問

試験日	時間	試験科目
2023 年 7 月 12 日 (水)	別途指定します。	口述試験

受験のために短期滞在ビザ（査証）が必要な受験者は、各自でビザ（査証）を取得してください。

受験票はインターネット出願で登録したメールアドレスへお知らせしますので、印刷して口述試験時に提示してください。

詳細については、15 ページ「STEP 7（受験票の印刷）」を確認してください。

(3) 試験会場

名古屋大学文学部本館または文系総合館（別紙試験会場配置図参照）

時間・集合場所については、試験日の一週間前までにインターネット出願で登録したメールアドレスにお知らせします。

10. 合格者発表

2023 年 7 月 31 日（月）午前 10 時頃（予定）に、人文学研究科ホームページ
(<https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/>) において発表し、追って合格者には合格通知を郵送します。
海外在住者の場合は、メールで通知します。

電話・電子メールなどによる可否の問い合わせには一切応じられません。

11. 入学手続

別途通知します。

12. 入学に要する経費

入 学 料	282,000 円	(予定額)
授 業 料	半期分 267,900 円	(予定額)
	(年 額 535,800 円)	(予定額)

なお、入学時または在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用されます。

〔注〕授業料は、春学期及び秋学期の2期に分けて、春学期分は4月に、秋学期分は10月に納入します。

13. その他

- (1) 願書受付期間内に願書類が全て揃わない場合は受理しません。
- (2) 受理済みの願書類は、いかなる理由があっても一切の修正等を認めません。また、返却はしません。
- (3) 願書類に虚偽記載があった場合や必要事項を記載しなかった等の場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (4) 試験場へは、試験開始 15 分前までに到着し係員の指示を受けてください。（試験場の入場開始は別途通知します。）
- (5) 名古屋大学では、構内への車両の入構規制を行っていますので、公共交通機関を利用してください。
- (6) 携帯電話，スマートフォン，タブレット，ウェアラブル端末等の電子機器を時計代わりに使用することはできません。
- (7) 住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜，合格発表，入学手続及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用します。また，取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外に使用しません。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

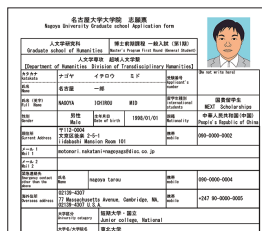


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれよ
りも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

.....

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

.....

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

.....

確認番号
メモ(6桁)

.....

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

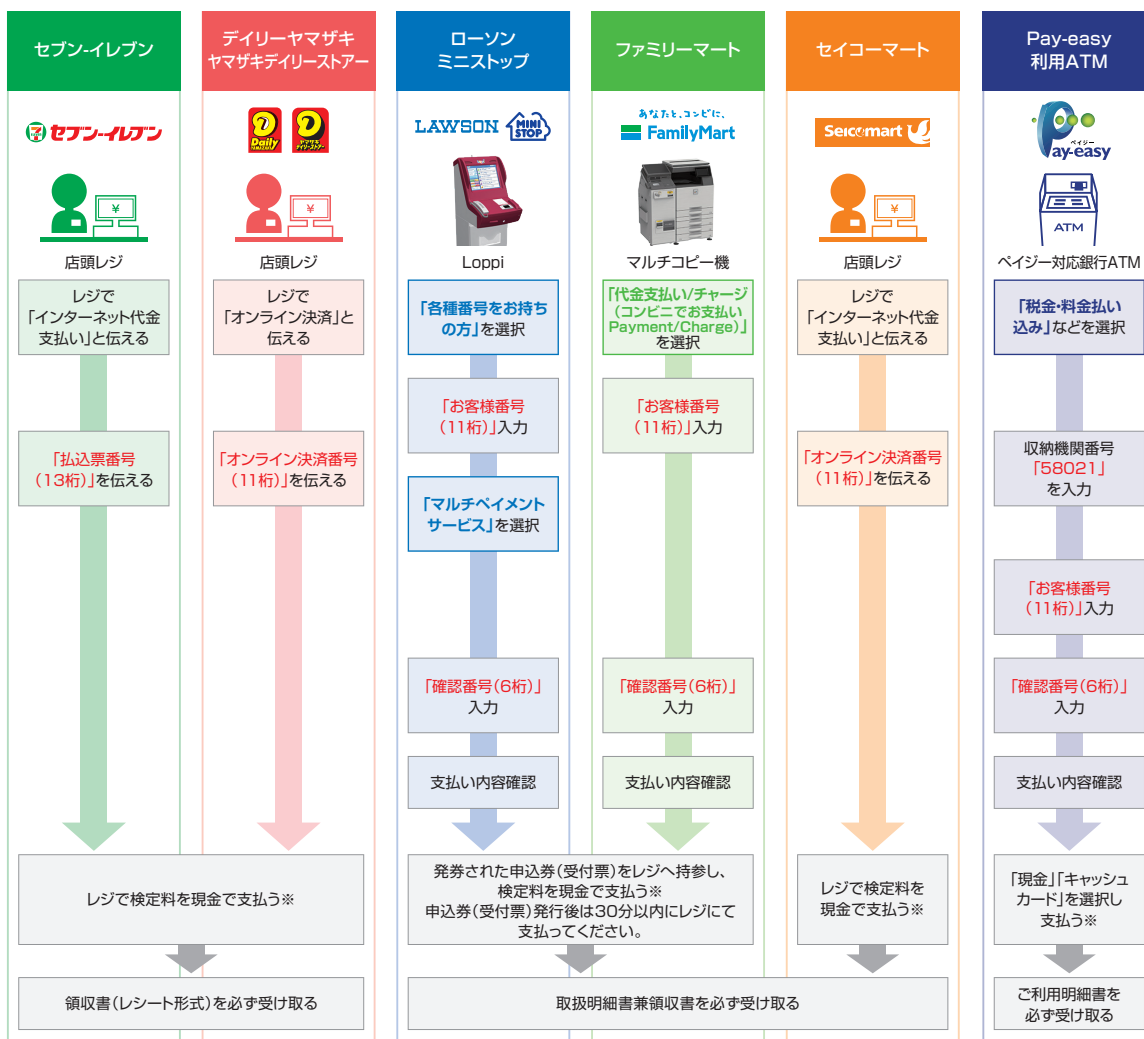
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
志願票 写真票
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
履歴書 など
- 出身大学等に発行を依頼する証明書
証明書



出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

※海外から発送する場合は宛名シートと封筒の指定はありません。追跡可能な方法で発送してください。

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

分野・専門及びその内容

言語文化学繫

分野・専門名	内容
言語学	東アジア・東南アジア・中央アジア・ヨーロッパを含む世界の諸言語・個別言語の構造及び機能の精密な観察・分析に基づき、個別言語の特徴、言語間の普遍性と多様性を記述的・理論的観点から明らかにする。また日本語と他言語の対照研究も可能である。
日本語学	多様な日本語資料に基づいて、日本語の歴史・地理・社会的な動態と多様性を言語事実として緻密に観察記述し、その構造的な特質について実証的に追究する。伝統的な日本語学・日本文学研究の蓄積を踏まえつつ、日本語に関わるあらゆる課題に即して最適の方法論と理論的立場を選択する。
日本語教育学	教育の素材となる日本語そのものを運用及び構造の二側面から追究する。また、様々な日本語教授法の背景をなす理論、日本語習得に関わる種々の要因を検討し、理論面、実践面から日本語教育のあり方を追究していく。
応用日本語学	日本語教育学・日本語学・日本語教育方法論について体系的な専門知識を身に付けると共に、日本語教育に関連する諸テーマについて研究を行う。研究成果を日本語教育の現場へ応用する実践的かつ実証的な研究活動を行う。

英語文化学繫

分野・専門名	内容
英語学	現代英語及び英語史における言語事実の綿密な観察に基づき、生成文法を中心とする一般言語理論の観点から、英語の共時的研究と通時的研究の有機的な融合を追究することにより、英語及び人間の言語能力の本質に迫ることを目指す。
英米文学	文学批評の歴史と理論を把握して、近代初期から現代にいたる英語圏の文学作品を文献実証的に分析し、そこに見られる時代精神や社会風潮といった言語文化の諸相を解説する。
英語教育学	英語教育学・第二言語習得論・心理言語学に関わる理論と研究方法を学ぶことで、外国語（第二言語）としての英語の習得及び教育についての知識と理解を深める。

分野・専門名	内容
ドイツ語ドイツ文学	近代初期から現代に至るドイツ語圏の文学・文化を、文化史的・思想史的・歴史的背景を踏まえながら学び、今日的な問題に対する洞察力と判断力を涵養する。スイス、オーストリアなどドイツ以外のドイツ語圏の文学・文化へも視野を広げることにより、文学・文化の多様性に対する理解を深め、人間性の本質を問う。
ドイツ語圏文化学	ドイツ語圏における、言語、文学、芸術、文化を対象にした研究をおこなう。その際、様々な可能性を否定せず、多角的で柔軟な視野を持ち、グローバルな広がりの中でのドイツ語圏の表象文化の諸相を分析し、解読・理解することを目標とする。
フランス語フランス文学	中世から現代に至るフランス語圏の文学・思想・文化を、歴史的背景を踏まえながら学び、真に今日的な批評精神を涵養する。フランス語を記述・分析し、一般言語理論や諸学問分野とも関連させて、その言語的特質・生態を探求する。
日本文学	古代から中世、近世を経て近現代に至る日本文学の諸作品と作家を幅広く研究対象とする。文芸理論と書誌学についての深い理解に基づいた、作品解釈を目指す。
中国語中国文学	古典から現代にいたる中国語の文献を精密に読み解き、理論的・実証的に分析することを基礎とする。その上で、中国文学研究においては、さらに作品表現の背景を解明することを目指す。また、中国語学研究においては、共時的研究や通時的研究を通して中国語を多角的・体系的に把握し、中国語のありようを解明することを目指す。
哲学	哲学の歴史、及びそれに立脚した哲学理論を、西洋を中心にしつつ日本の思想・哲学をも含め、形而上学、自然科学、認識、論理、言語、倫理、宗教、政治、人類学等々の各分野にわたる原典読解や二次文献・研究文献の読解を通して、総合的に理解する。
西洋古典学	西洋古典文学、西洋古典語学、ギリシア・ローマ神話学、ギリシア・ローマ宗教学。古典古代の個々のテクストの正確な読解を通して、古代ギリシア・ローマの文化と社会の正しく深い理解を追究し、西洋文明や人間の本质を考える。
中国哲学	漢語原典の正確な読解を踏まえた上で、中国本土ならびに近隣の東アジア漢字文化圏の学術思想・宗教・精神文化を対象にした、研究と教育を目指す。
インド哲学	南アジアにおける哲学、宗教、文学、伝統的学術などの原典を精緻に解読し分析することにより、アジアの基層文化を探究すると同時に、人間の本質の理解をもめざす。

超域人文学繫

分野・専門名	内容
映像学	映像の生産，流通，上映，表象，受容に関わる多様な側面を，歴史的・社会的・政治的・経済的・文化的・テクノロジー的・エコロジー的文脈を視野に入れながら，実証的・理論的に研究する。
日本文化学	文化・文学・批評に関する理論を把握したうえで，地域や学問領域をまたいで多角的に日本文化を研究する。とりわけ東アジア地域の関係性の中において日本文化の姿を捉え直す。
文化動態学	人が移動するという事象や，それを受けた長期的な文化・社会の再編成の問題を，歴史的な視野を持ちつつ領域横断的に分析する。東北アジアの国際移動や越境する歴史と記憶のダイナミズム，ヨーロッパの移民／国民の境界をめぐる変化など，幅広いテーマを取り上げつつ，多角的・複眼的なアプローチを用いて研究する。
ジェンダー学	フェミニズム，ジェンダー，セクシュアリティに関する研究を基盤として，社会における事象と表象を学際的に検証する。それを通じて，既成概念にとらわれない人材の育成と研究成果の社会的還元を目指す。
メディア文化社会論	メディア・コミュニケーション，文化表象，社会現象における諸問題や研究課題を分析・研究することを目指す。量的及び質的研究方法論を用い，様々な視点から専門分野における理論構築および応用能力を培うことを目的とする。

歴史文化学繫

分野・専門名	内容
日本史学	古代～近現代史にいたる，日本史上のさまざまな課題について，文献史料に基づいて実証的に分析し，過去の人間の営みを解明することを目指す。史料の調査にあたり，フィールドワークを重視する。
東洋史学	古代～近現代にいたる，アジア諸地域の歴史を対象とし，現地言語をはじめとする外国語文献を十分に利用しつつ，実証的な研究を進め，多様なアジア世界の諸相につき，より正確な理解を目指す。
西洋史学	古代～近現代にいたる，西洋史上のさまざまな課題について，伝統的な歴史学の方法論を基礎としながらも，文書史料だけではなく表象や記憶，物質文化などに関わる多様な史資料を分析・総合することで，西洋世界の重層的な歴史を読み解くことを目指す。
美学美術史学	日本・東洋・西洋の美術作品を，方法論を踏まえて実証的に分析し，美術の歴史を体系的に構築する。また，美術作品を起点としつつ，人間が生み出した視覚文化の諸相について歴史的意義を明らかにする。

分野・専門名	内容
考古学	遺跡・遺物の実証的研究に基づき社会や文化を解明し，人類史の再構成を目指す。遺跡を発掘し，出土した遺物を分析して考古学的事実を正確に把握するとともに，それらを深く掘り下げて新しい歴史像を再構築する。
文化人類学	日本及び世界の多様な社会と文化，思想をフィールドワークと民族誌，資料にもとづいて精緻に理解するとともに，文化人類学の歴史と理論をふまえ，人類史的な比較の視点から人間の本質の解明を目指す。

指導可能領域

言語文化学繫

分野・専門名	内容
言語学	音声学，音韻論，形態論，統語論，意味論，語用論，言語類型論，歴史言語学，社会言語学，対照言語学（例：日韓・日中・日英語の対照），フィールド言語学，言語接触研究。なお，特定の個別言語（例：日本語，朝鮮韓国語，トルコ語，フィンランド語）の研究であっても複数の言語を対象とした研究であっても可。
日本語学	日本語学及び日本語史の諸領域（音声学，音韻論，形態論，統語論，意味論，語用論，文字・表記，文章・文体），日本語学史，日本語資料論
日本語教育学	日本語の意味・文法研究，会話分析・談話分析，日本語と他言語の対照研究，コーパス研究，認知言語学，日本語の誤用分析，日本語の語彙・文法教育，日本語習得研究，日本語教授法，外国語教授法
応用日本語学	文法論（記述文法，日本語教育のための文法研究），日韓対照研究，日本語教育教材論，第二言語習得，第二言語運用論，接触場面の研究，談話分析，日本語コミュニケーション論，日本語教育学，ICTを活用した日本語教育，オンライン日本語教育，言語運用に対する評価，学習ストラテジー論，自己調整学習

英語文化学繫

分野・専門名	内容
英語学	英語学の諸領域（統語論，意味論，音韻論，形態論，語用論，書記体系論，英語史），生成文法，認知意味論，歴史言語学，日英対照言語学，コーパス研究
英米文学	英語圏文学，イギリス小説，英詩，シェイクスピアを含むイギリス演劇，イギリス文化史，英米児童文学，アメリカ小説，アメリカ詩，アメリカ演劇，アメリカ文化史，文学批評理論，トランスレーション・スタディーズ
英語教育学	英語教育学・第二言語習得論の諸領域（英語教授法，英語教材論，英語コミュニケーション論，第二言語習得論，英語教育学，言語評価論）・心理言語学・バイリンガリズム

文献思想学繫

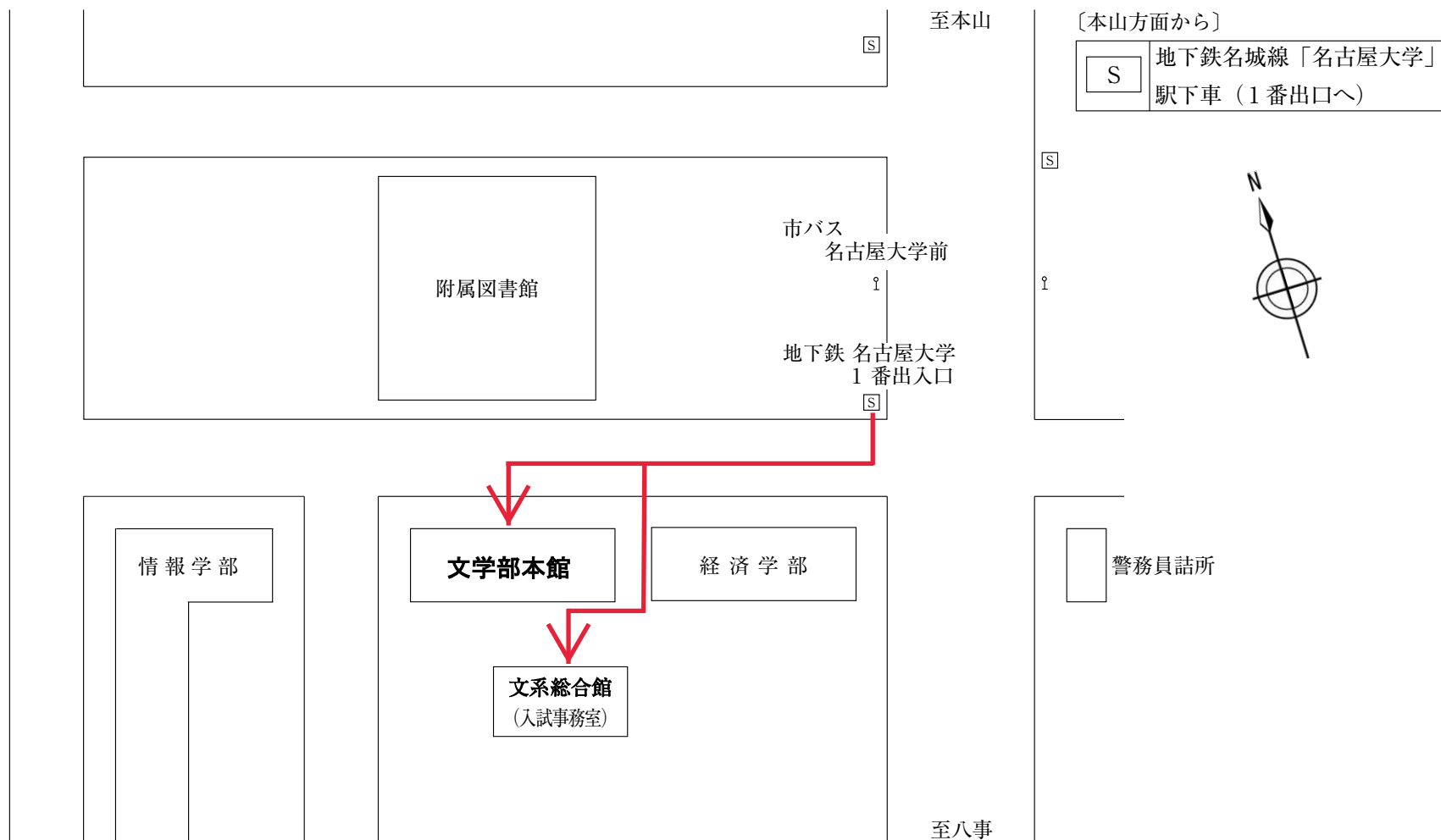
分野・専門名	内容
ドイツ語ドイツ文学	18世紀から現代に至るドイツ語の詩・小説・演劇・批評など文学全般、ドイツ思想史、スイス戦後文学、記憶論、想起の文化、翻訳論、ファシズム研究、感情研究、テキストマイニングを用いた文学研究
ドイツ語圏文化学	ドイツ語圏語学、ドイツ語圏文学、ドイツ語圏の芸術（詩、音楽、映画、演劇、ダンス、ミュージカル、人形劇、デザイン、芸術運動など）、ドイツ語圏のメディア（広告・雑誌など）、日独比較文学・文化研究、身体文化研究、女性芸術家研究
フランス語フランス文学	フランス文学史、フランス語圏の詩・小説・演劇、フランス文化史、フランス批評理論、フランス近・現代思想、比較文学、比較思想、文学と芸術、文学と宗教、テキスト理論、テキスト生成研究、コンピュータによるテキスト分析、フランス語学の諸領域（統語論、意味論、音韻論、形態論、語彙論、語用論、フランス語史）、日仏対照言語学、翻訳論、フランス語教授法
日本文学	古代から中世、近世に至る古典文学の諸作品及び作家についての研究。特に王朝物語、近世小説、和歌、俳諧など。書誌学及び出版文化史。古典文学や書物文化研究をふまえた近現代文学研究。
中国語中国文学	現代中国語学、中国古典語学、中国語教育、日中対照言語学、中国古典文学（文言、白話）、日中比較文学、日本漢文学、近現代中国文学、日中台比較舞踊史
哲学	哲学・倫理学および政治・社会思想史の諸領域
西洋古典学	ギリシア・ローマの叙事詩、悲劇、喜劇、抒情詩、散文、神話、宗教。古典ギリシア語、古典ラテン語。
中国哲学	儒学、経学、諸子百家、漢唐訓詁学、朱子学、尚書学、清朝考証学、日本漢学
インド哲学	インドの六派哲学、論理学、文法学、修辞学、法典、仏教、ジャイナ教、サンスクリット文学、叙事詩、宗教哲学、比較哲学

分野・専門名	内容
映像学	映像批評理論, 映画史, 各国・地域映画 (とくに東アジア映画), 初期映画, 越境映画, 合作映画, インディペンダント映画, 映像文化 (アート, 音, ジェンダー, エスニシティ, モダニティ, 記憶, 身体など), ジャンル (ドキュメンタリー, アニメーションを含む), 作家, 演技, スター, 映画祭, 観客, メディア産業, 検閲, プロパガンダ, トランスメディア, 映像とデジタルメディア, 映像アーカイヴ, 映像教育, テレビ, 写真, 映像と社会・政治・経済, 映像とテクノロジー, 映像と環境問題, 映像と生命
日本文化学	日本近現代文化論, 雑誌・新聞論, 読者・読書論, 日本近現代文学論, 近現代作家研究, 近代化と文学, ジェンダー・セクシュアリティと文学, ポストコロニアル文学論, 現代日本語文学論, 移民文学論, 留学と文学・文化論, 左翼文学文化運動論, 階級と資本主義文化論, アジアの中の日本文学文化論, 日中比較文学文化論, 日韓比較文学文化論, 日台比較文学文化論, 文化受容論, 表象文化論, 文学と視覚聴覚文化, 近現代詩研究, 短歌俳句研究, 文学理論, 物語論, 翻訳論, デジタル・ヒューマニティーズと文学
文化動態学	社会学, 社会史, マイノリティ研究, 移民研究, ディアスポラ論, 国際社会学, ナショナリズム／トランスナショナリズム研究, 比較文化史, 日系人研究, ヨーロッパ地域研究, 中国地域研究, 東北アジア地域の歴史社会学, 植民地社会論, 少数言語地域研究, 日本社会の社会学的研究
ジェンダー学	ジェンダー, セクシュアリティ, フェミニズムに関する特に以下の領域: クィア理論, LGBT 研究, 経済・労働・社会政策, 社会調査, スポーツ, スポーツマネジメント
メディア文化社会論	批判的言説分析, カルチュラル・スタディーズ, ファンダム研究, パンデミック社会論, メディア・コミュニケーション論, ソーシャルメディア論, 出版メディアの受容研究, 日本視覚文化, 消費文化, 大衆文化論, 日本の戦時大衆文化, メディアと文化における表象の政治, オンライン・ジャーナリズム, 東アジア出版文化, 体系機能言語学, 近現代家族と社会, フェミニスト&クィア研究, 近世イギリスのニュース文化, 日本近世文学, 情報格差, デジタルヒューマニティ

歴史文化学繫

分野・専門名	内容
日本史学	古代史・中世史・近世史・近現代史
東洋史学	日本を除くアジア諸地域に関する歴史的視点にもとづく研究，特に中国前近代史・近現代史及び中国民族史，東南アジア史など。
西洋史学	古代地中海文明史，ヨーロッパ中世史，ヨーロッパ近現代史，アメリカ史，比較史，文化交流史
美学美術史学	西洋美術史，日本美術史，東洋美術史（特に中国絵画史を中心とする）。
考古学	日本考古学，先史考古学，歴史考古学
文化人類学	文化人類学の諸領域（文化人類学，社会人類学，宗教人類学，芸術人類学，構造人類学，医療人類学，観光人類学，開発人類学，応用人類学，人類学史），物質文化研究，民族芸術学，民俗学，民俗芸能研究，宗教学，アーカイヴ研究

名古屋大学大学院人文学研究科 試験場配置図



出願資格の事前審査について

◇出願資格（6）により出願する者の個別審査について

1．個別審査

出願資格（6）により出願する者は、次の書類を**2023年5月22日（月）午後4時までに**、文系教務課内 人文学研究科入試担当へ郵送し（書留で封筒の表に「出願資格（6）の個別審査」と朱書）、出願資格の有無について個別審査を受けてください。証明書は原本を提出してください。

① 出願資格審査願〔様式2〕

② 出願を希望する専攻・専門に関して〔様式3〕

③ 大学等の卒業等以後の学歴を証明する書類

（卒業証明書、退学証明書、在学期間証明書等のうちいずれか）

④ ③における成績証明書

⑤ （外国人のみ）在留カードのコピー（両面）海外在住者はパスポートのコピー

⑥ 返信用封筒（住所、氏名を明記した長形3号（12cm×23cm）のもの（84円切手貼付））

提出書類に基づいて、個別審査を実施し、その結果を2023年5月31日（水）までに本人あて通知します。

2．個別審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

「出願資格有」と判定された者は、出願書類を受付期間内に必着で**郵送**してください。

3. 郵送先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4(700)

名古屋大学 文系教務課内 人文学研究科入試担当

※ 募集要項に記載されている「出願資格」の(6)で出願しようとする者のみ、文系教務課内
人文学研究科入試担当あてに2023年5月22日(月)午後4時必着で郵送してください。

出 願 資 格 審 査 願

ふりがな

1. 氏 名

(男 ・ 女)

2. 生年月日

年

月

日生(満 歳)

3. 連絡先(現住所)

(〒 -)

携帯 - - 自宅() -

E-mail

4. 国籍・在留資格(外国人の場合のみ)

5. 学歴及び現在の身分

<学歴>

年 月

小学校入学

年 月

小学校卒業 (年間)

年 月

中学校入学

年 月

中学校卒業 (年間)

年 月

高等学校入学

年 月

高等学校卒業 (年間)

年 月

年 月

(年間)

年 月

年 月

(年間)

<現在の身分>()

6. 出願予定の分野・専門名

次ページ[様式3]に、あなたが出願を希望する分野・専門に関して、これまでに学習したこと、これから研究したいテーマを800字以内で書いてください。(Word等により作成した文書を印刷し、[様式3]に切り貼りすることもできます。)

氏 名

[出願資格審査願用]

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small, evenly spaced squares formed by thin black lines. There are no margins, text, or other markings on the page.

2023年4月発行

名古屋大学文系教務課内人文学研究科 入試担当

〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-4(700)

e-mail: hum@adm.nagoya-u.ac.jp

[Graduate School of Humanities, Nagoya University]
Student Affairs Section for the Graduate Schools of
Humanities,
Student Affairs Division for the Schools of Humanities
and Social Sciences,
Bunkei Sogo-kan Building,
Nagoya University
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601 JAPAN

(出願書類の持参およびメールでの出願はできません。)